

## ●新中期経営計画名称

# とうぎん“新時代”

中期経営計画期間  
平成22年4月～平成24年3月(2年間)



## ●「とうぎん」の目指すべき姿

### 郷土の成長を育む農耕型の経営を実践する銀行

～世代を超えた永続的な取引を目指します～

低金利での肩代りからは一線を画し、取引に至るまでの経過や取引推移を重視し、お客様の経営が好調でも不調でも、世代を超えた永続的な取引を目指し、長期的なリレーションにより地域との共生を実現していきます。

## ●中期経営計画全体図



## ● 中期経営計画概要

とうぎんの目指すべき姿を実現するため  
「地域産業の創出」「中小企業の支援」の2本柱を掲げ、  
当行独自のビジネスモデルとして確立していきます。

### 「地域産業の創出」について

従来から独自性を発揮しているアグリビジネスの産業化に加え、環境への対応は世界的な重要テーマと捉え、広大な地域資源を次世代につなげる環境ビジネスについて新たに取り組む、地域産業の創出を実現していきます。

### 「中小企業の支援」について

他行に先行して実施してきた、ファクタリング、ABL、PFI等の新しい融資手法に積極的に取り組むことで独自性を発揮し、中小企業への積極的な資金供給並びに新たな顧客の開拓を行い、中小企業の支援を実現していきます。

創業60周年(平成22年11月1日)を迎え、10年後の次世代に向けて東北銀行が存在感を発揮し続けるため、平成24年1月の「新システムの稼動」に合わせ「戦略的なシステムの構築」を行い、2年間で「収益力の強化」・「持続的な成長」・「外部環境に即した業務運営」を行うための重要経営戦略<中小企業等貸出の推進><中小企業金融の円滑化><預り資産等金融資産の拡大><業務改革の推進>を展開していきます。

## ● 重要経営戦略

### 中小企業等貸出の推進

独自の取組みとしてアグリビジネス・環境ビジネスを支援していくと共に、ファクタリング等の新しい融資手法にも積極的に取り組み、中小企業貸出先数を増加させ、将来に亘る貸出の基盤を構築していきます。

顧客保護

### 中小企業金融の円滑化

経営改善計画の策定やリレーションを重視した取引を行うことで、お客様との長期的取引を維持し、企業育成、企業支援に積極的に取り組んでいきます。

ガバナンス

戦略的な  
システムの  
構築

コンプライアンス

### 預り資産等金融資産の拡大

ファイナンシャルプランニング、ライフプランニングができるチーフ・マネー・アドバイザーを育成・増員し、投資信託・貯蓄性保険商品、今後期待される分野として保障性保険商品等の金融商品を提案していきます。

リスク管理

### 業務改革の推進

店舗、業務、人員数の見直しによる資源の効率化、最適化等の業務改革により経費削減を行います。